



# 至誠・致知・鍛錬

甲斐市立双葉中学校  
 学校だより  
 発行 校長 中村 忍  
 平成31年度 第12号  
 1月9日発行

「人生は自分が主役を演じるドラマ（自分の人生は自分が決める）」飽くなき好奇心と初々しい感性をもって、自分の能力が最大限に発揮できるようなシナリオを創作して、出会った人に希望と喜びを与えるような生き方をしていきたい。



## 「年始に思うこと」 ～チームを日本一に導いたもの～

栗山 英樹（北海道日本ハムファイターズ監督）

雑誌の特集で、栗山 英樹 監督の記事を目にして、すかさず手に取った。実は、わたしの大学時代（東京学芸大学）の同級生で、授業を一緒に受けた友人であり、気さくなやつであった。教師にはならず、当時は、国立大学を出て、小学校の教員免許を待った唯一のプロ野球選手（ヤクルト）として有名であった。

今、同級生で活躍している栗山監督が、どんな考えを持って対談に臨んだのか非常に興味を持った。

対談を見ると、固定観念にとらわれない采配や、選手の能力を最大限に引き出す指導など、われわれの教育界にも通じるものがあると感じた。

栗山監督は、「結果は日本一になったが、日本一のチームになっただけではない」という。日本一という頂に立った時に見てきた景色は、今のチーム・選手に足りないもの、課題もあってさうである。それは、子どもたちにあがれを持ってもらい、夢を持ってもらえるような選手として、人としてキラキラした存在であってほしいとの願いでもあった。

そのために、今も栗山監督が努力していることは、

- ・誰よりも野球を愛し、誰よりも選手のために尽くすために成長し続けること。
- ・組織を活かしたり、人の心をつかめる人になるために、歴史が凝縮された古典の中にヒントを得ていること。
- ・心のつながり、チーム魂が、試合を大きく左右するので大切にしていること。
- ・「人と比べない」今日よりも明日、明日よりも明後日と、少しずつでも自分自身の野球がうまくなっていくように選手に指導していること。
- ・監督＝気付け屋さん として、選手の成長を信じて、我慢し待ってあげること。

リーダーとは、絶対的なオーラとか指導力ではなく、あの人があんなに一所懸命やっているんだから、手伝ってあげようと思われる存在であり、あの人の人柄だったら手伝ってあげようと思ってもらえる人と説いている。

なるほどと思った。校長として、同級生に一步でも近づけるように努力していきたい。



## 「マンホールカード贈呈式」 ～秘められたストーリー～

12/21（金）に、本校において、甲斐市長 保坂 武 様によるマンホールカード贈呈式を行いました。新デザイン「やくそくの桜」のカードを3年生にいただきました。

このカードには、約束の物語が秘められています。

それは、今から6年前のこととなります。塩崎駅には、毎年春になると、ピンクで満開となるりっぴな桜の木がありました。その桜の木は、駅を利用する人たちはもちろんのこと、双葉に住む子どもたちを見守り、いつも和やかな素敵な心になってくれていました。

しかし、駅改修工事が決定すると、ロータリー整備のために、桜の木を切ることになってしまったのです。双葉の子どもたちは、「わたしたちの大切な桜の木を切らないで。」と、関係者に懇願しました。これに対して、大人たちは、何年先のことになるかわからないのに「桜は切るけど、そのかわりに、もっときれいな桜を咲かせます」という約束をしたのです。

それから6年が経ちました。駅の改修工事も最終段階となった今、なんと、平成31年3月7日（木）に、本校3年生を招待しての「やくそくの桜」植樹セレモニーが塩崎駅北口で計画され、その約束が果たされることとなりました。

今ここに、約束にこたえようとする大人たちの行動で、子どもたちの夢が実を結びます。素晴らしいストーリーが完結します。

6年もの長い間、大人たちが、約束を忘れずに果たしてくれたことは、双葉中生に、「信頼」という大きな力を授けてくれました。これは、生徒が大人になったとき、この物語と共に次の世代へと語り継がれ、信頼という輪が受け継がれていくこととなるでしょう。

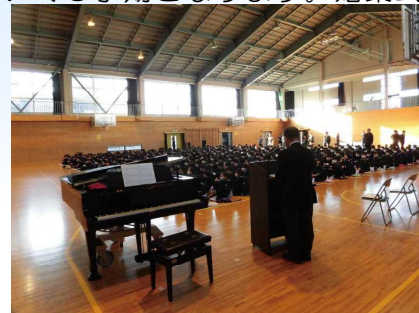
※ ちなみに、桜を描いたマンホールには、「願い叶う」「サクサク」「落ちない」という願掛けの意味も含まれ、3年生の合格祈願ともなっています。カード入れは、市職員による心が込められた手織りです。



## 「第3学期始業式」

1/8(火)に、第3学期始業式を行いました。いよいよ3年生は進路に向けて、2年生は最高学年の準備に向けて、1年生は先輩としての姿づくりに向けて、取り組んでいく3学期となります。始業式では、「人としての生き方」について、以下の3点の話をしました。

- 「スポンジ人間になれ」(資生堂会長)  
嫌なこと、悪いことはギュッとしばってしまい、好きなこと、良いことは、たくさん吸収する人間になってほしいこと。
- 「人間は調和が大事」(宮大工棟梁)  
木材に節があり、ひび割れがあっても、建物の美しさは、全体のバランスで保たれる。人と人のつきあいも同じだということ。
- 「年寄りに席を譲る勇気を持って」(ボードビリアン)  
電車の中で、まわりにたくさんの学生がいる中で、ご老人に席を譲れば、白い目で見られるかもしれないが、気にせず席を譲る人間であってほしいこと。



## 「平成31年度生徒会役員任命式」

1/8(火)に、平成31年度生徒会役員17名の任命式を行いました。生徒会役員が中心となって、チーム双葉中として伝統を積み重ねていってほしいと思います。

会長	2年
副会長	2年
副会長	2年
副会長	1年
役員	2年

1年



## 「しぶんぎ座流星群」にチャレンジ

1/3(木)の夜11:00から朝3:00頃までの4時間、三大流星群のひとつ「しぶんぎ座流星群」を自宅の庭で観察しました。

毎年恒例になっていますが、ブルーシートの上に、延長コードでつながれた電気毛布、スキーウエアー、毛糸の帽子を身にまとい、2学期の終業式で生徒に約束した願かけを行いました。一瞬で流れていってしまう流れ星に向かって、

「双葉中生にとってよい年となりますように！」と。



## 「学校創立記念日」

1/20(日)は、66回目の双葉中学校創立記念日であり、偶然にも校長の誕生日でもあります。塩崎村立塩崎中学校と登美村立登美中学校が一緒になり、組合立塩崎登美中学校となった昭和28年1月20日を創立記念日としました。

双葉中は、景色がよく、どこからも見える高台のこの地にそびえ立つ学校となっています。今後3年間で、内装も外装も新しくなり、双葉地区のシンボルとなるような学校に変身することと思います。双葉地区のランドマークとして、地域と共に胸を張れる学校にして参りたいと思います。



## 表彰等

JA共催	書道条幅の部	銀賞	2年
	半紙の部	佳作	3年
	ポスターの部	佳作	1年

山梨県野球連盟 優秀選手 3年

## 「チーム双葉中」

教職員40名 生徒450名 保護者407名が

「チーム双葉中」として取り組んでいます。

学校住所：〒400-0106 甲斐市岩森1337

電話：0551-28-2019 FAX：0551-28-5689

ホームページ <http://www.city-kai.ed.jp/fchu/> も併せてご覧ください。